

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●型材切断面でケガをするおそれがありますので、ストライク側縦框(上・下)には同梱の框キャップを必ず取付けてください。

■組立て上のおお願い

- 中棧付きのガラスは上用下用でサイズが異なります。間違えないように組立ててください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
(腰パネルには、ガラス厚19mm用をお使いください。)
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 枠の組立ておよび取付け・本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および丁番に同梱のワッシャーは必ず施工される方へお渡しください。
- 本体を枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 格子を取付ける場合は、必ず本体組立て前に格子取付け金具裏板を取付けてください。組立て後では、取付けられません。

■組立てねじ一覧表

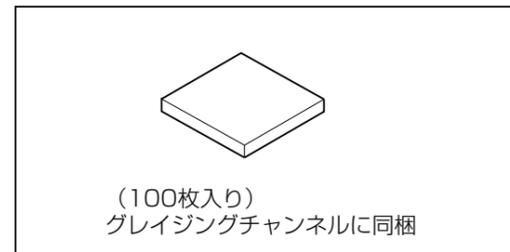
記号	①	②	③	④	⑤	部 品 箱		
						ハンドルセットに同梱		丁番に同梱
						⑥	⑦	⑧
姿図								
	ナベタッピンねじ φ5×90	プッシュボタン φ10	ストライク框 キャップ	ナベ小ねじ M6×6	ロッド棒	バインド小ねじ M4×50 (2本)	バインド小ねじ M4×12 (1本)	皿小ねじM4×20(8本) (H20より大きい場合は12本)

■別売り部品

■グレイジングチャンネル

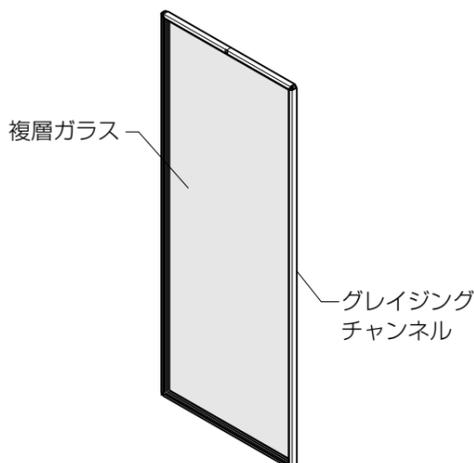
種類	ガラス厚18~20mm用			ガラス厚21~22mm用	
	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
グレイジングチャンネル		1枚ハクリしてご使用ください。 	2枚ハクリしてご使用ください。 		1枚ハクリしてご使用ください。

■ガラスコーナースील



■組立て順序

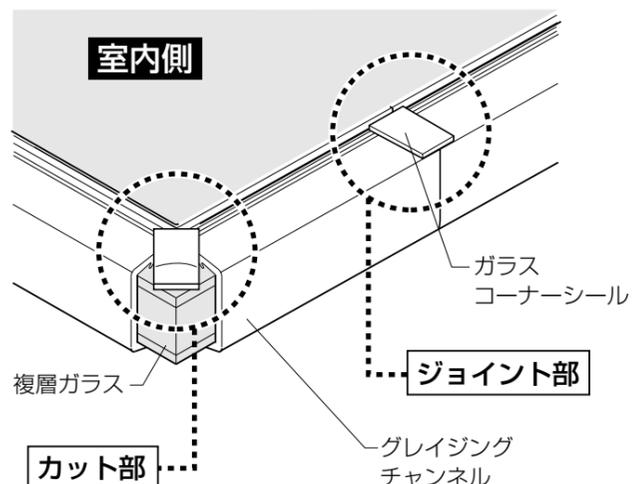
① グレイジングチャンネルの取付け



■組立て詳細

① グレイジングチャンネルの取付け

- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を用意し、ガラス四辺に回します。
※コーナ部はグレイジングチャンネルがくい込まないようにしてください。
- ②ガラス室内側の4隅のカット部およびジョイント部に、ガラスコーナースील(別売り)を張ります。
※高断熱・高气密住宅の場合、必ず実施してください。

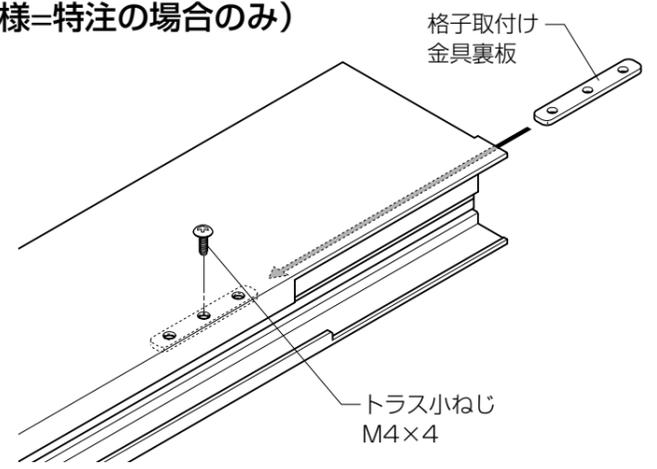


**2 格子取付け金具裏板の取付け
(網無格子仕様=特注の場合のみ)**

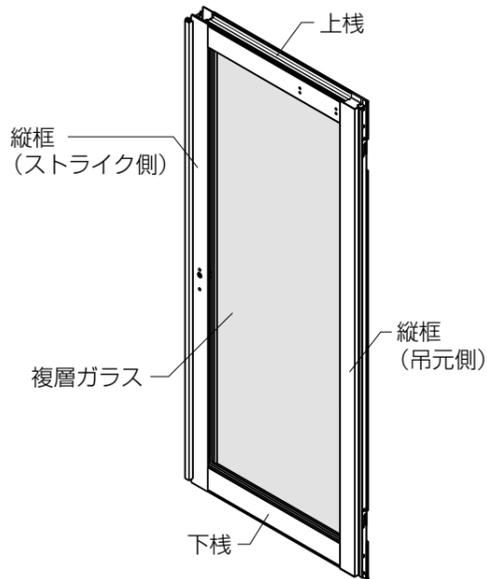
2 格子取付け金具裏板の取付け (網無格子仕様=特注の場合のみ)

● 格子取付け金具裏板をガラス溝に差込み、中央の穴を取付けねじで固定します。

お願い
※ 格子を取付ける場合は、必ず本体組立て前に格子取付け金具裏板を取付けてください。組立て後では、取付けられません。



3 本体の組立て

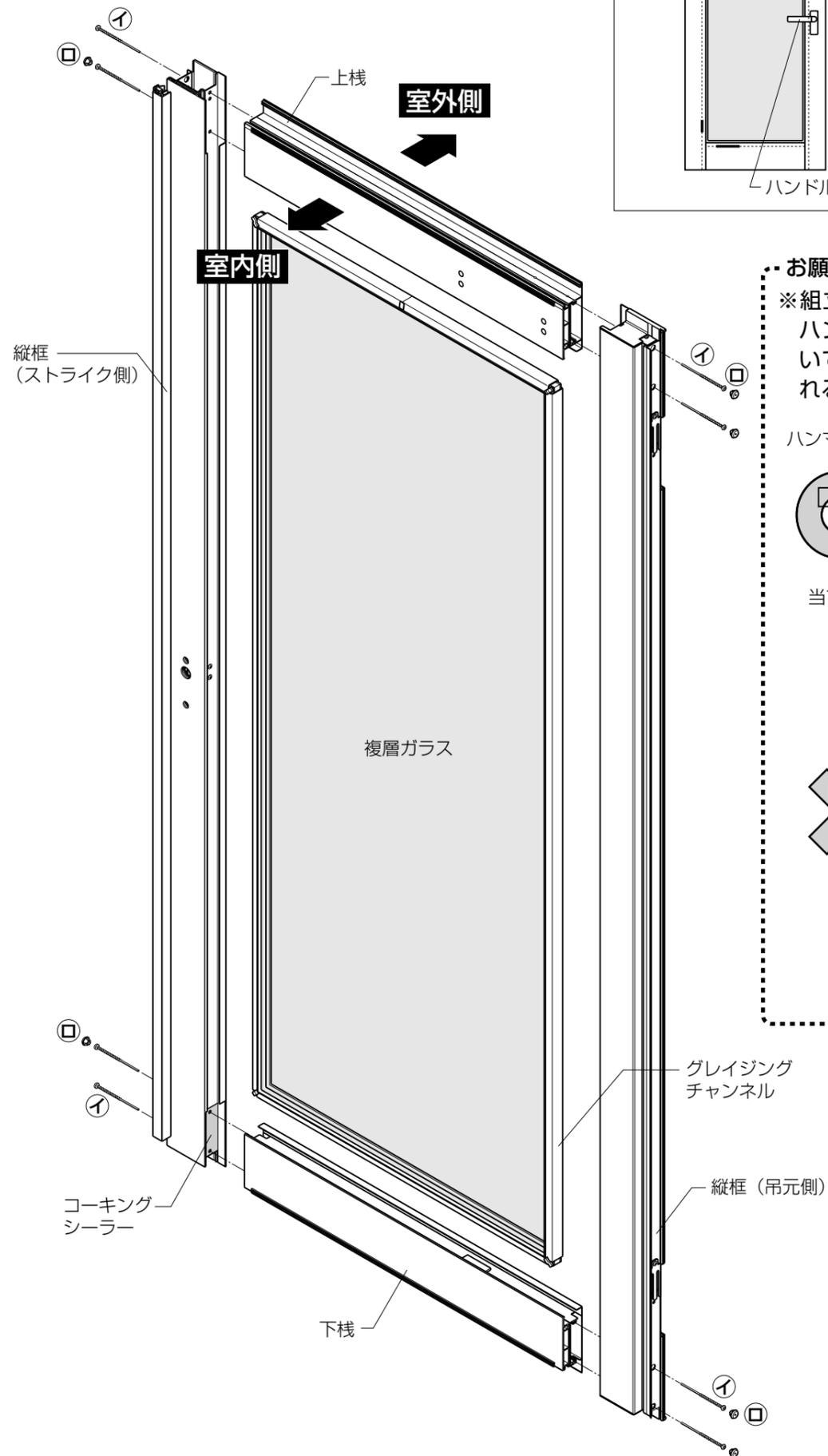
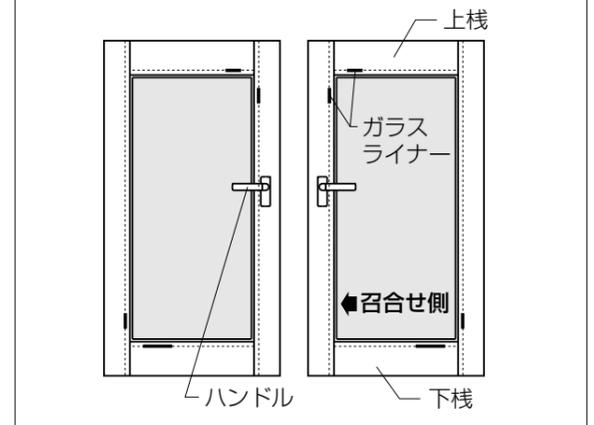


3 本体の組立て

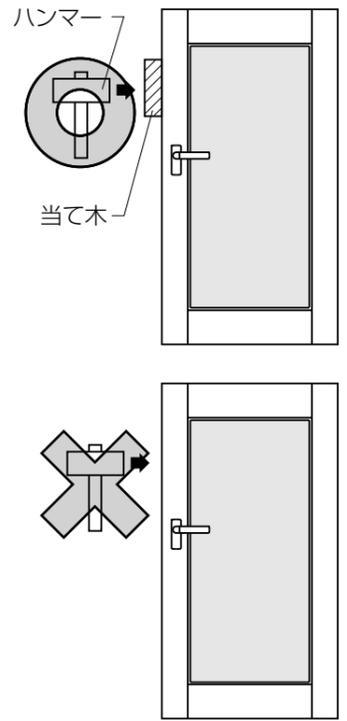
- ① 上・下棧にガラスを差込みます。
※ 上・下棧の両端からガラスが均等に出るようにしてください。
- ② 左右縦框を差込み、上下棧をねじで固定しプッシュボタンを取付けます。
※ 組立てた本体のW寸法が、中央部のみ大きい場合は、必ず矯正してください。

※ 上下棧を間違えないようご確認ください。

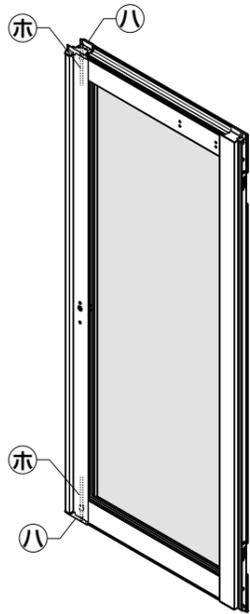
- 下棧には水抜き穴があいています。
- ガラスライナーは下図の位置にきます。



お願い
※ 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



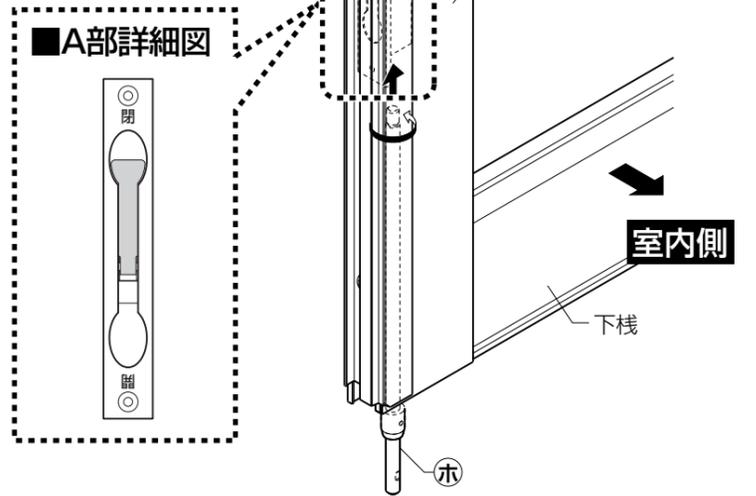
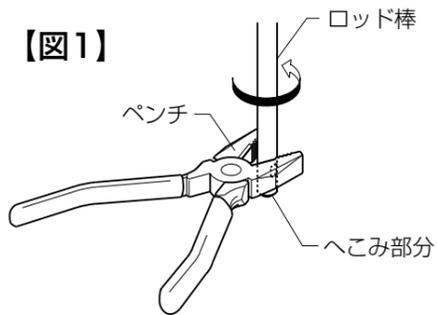
4 ロッド棒、ストライク側キャップの取付け



4 ロッド棒、ストライク側キャップの取付け

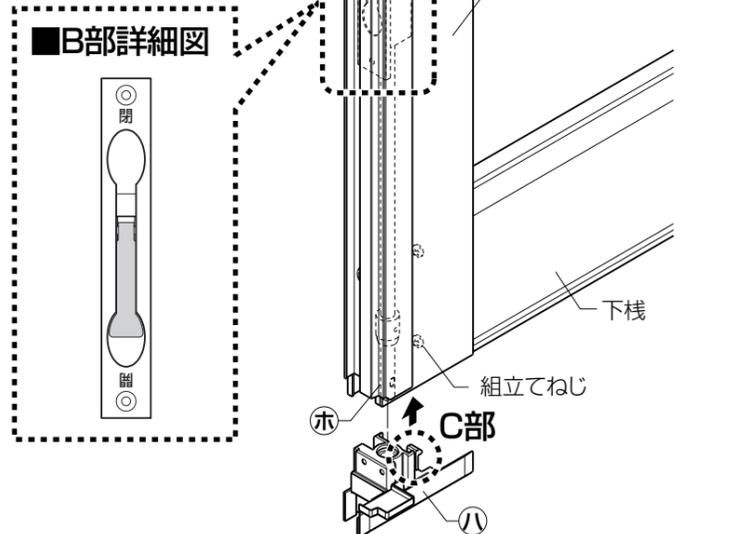
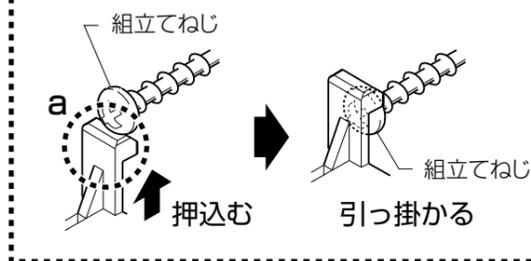
- ① フランス落しを「閉」にします。(■A部詳細図)
- ② ストライク側縦框に取付けてあるフランス落しにロッド棒のねじ部を差込み、回転できなくなるまで締めます。
※ロッド棒には上下の使い分けがあります。上用に識別シールが張付けされていますので確認のうえ使用してください。
※ロッド棒先端のへこみ部分をペンチなどでつかみ、固く締込んでください。【図1】

【図1】

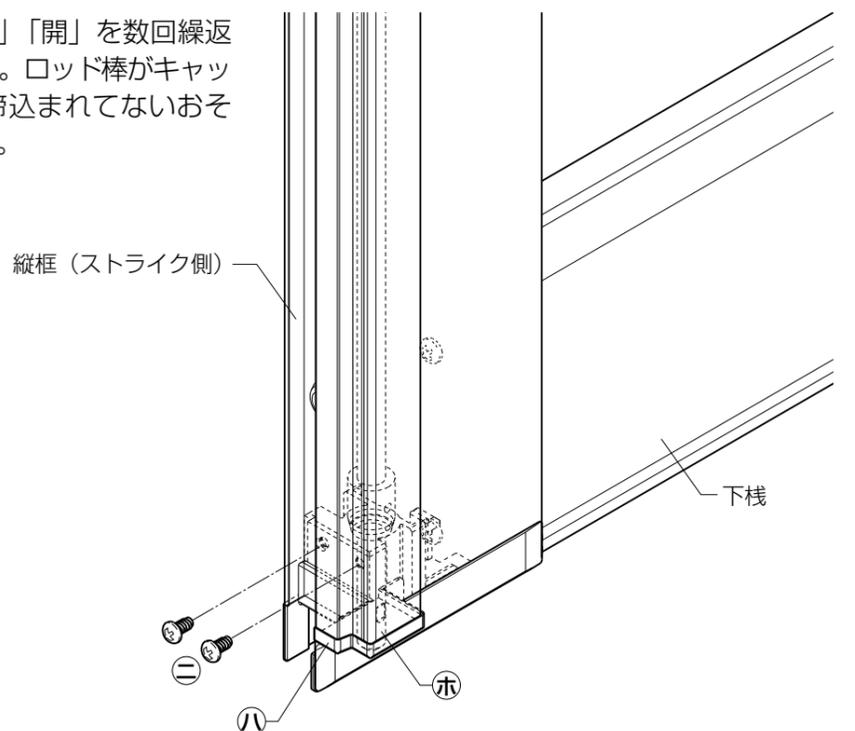


- ③ フランス落しを「開」にします。(■B部詳細図)
- ④ ストライク側キャップをキャップ中央の穴にロッド棒が通るようにしてはめ込みます。
※ストライク側キャップには上下の使い分けがあります。確認のうえ使用してください。
※キャップ取付けの際に、a部が組立てねじの頭にぶつかります。パチンと音がして、a部がねじに引っ掛かるまで押込んでください。(■C部詳細図)

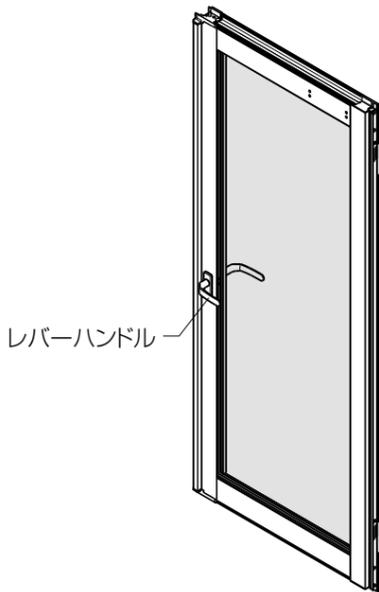
■C部詳細図



- ⑤ ねじで固定します。
※キャップ取付け後にフランス落し「閉」「開」を数回繰返し、異常がないことを確認してください。ロッド棒がキャップに当たる場合はロッド棒が奥まで締込まれてないおそれがあります。再度締込んでください。

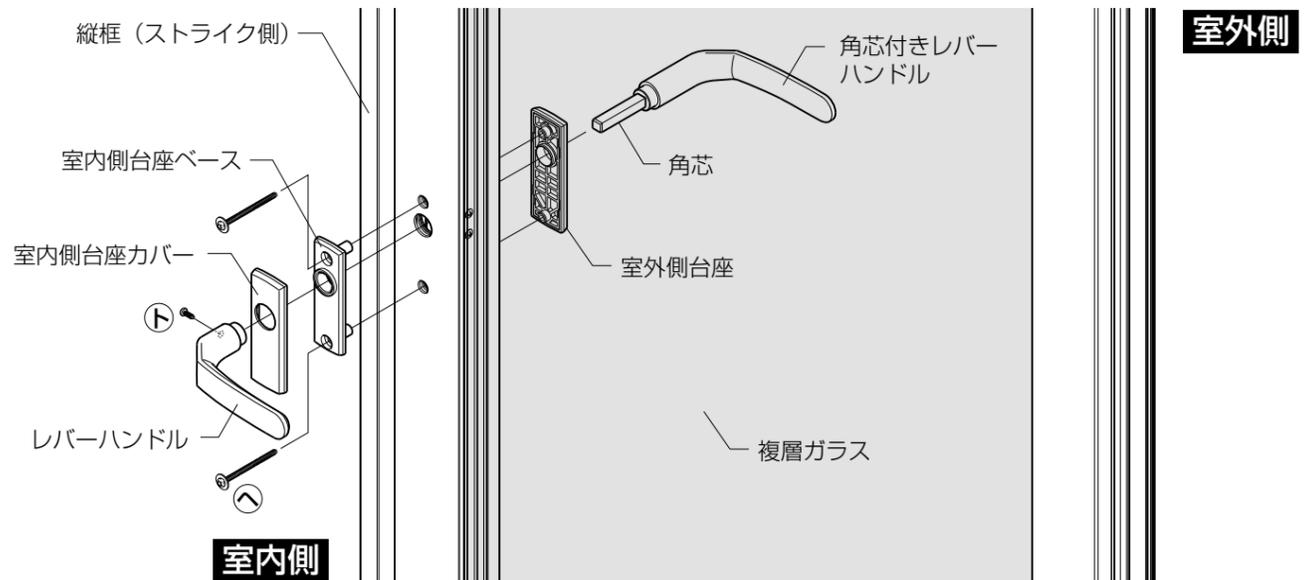


5 レバーハンドルの取付け

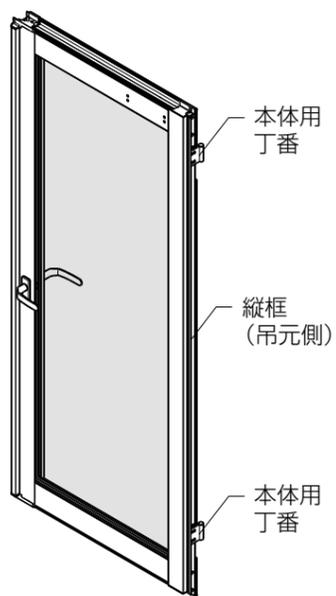


5 レバーハンドルの取付け

※各セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。



6 本体用丁番の取付け



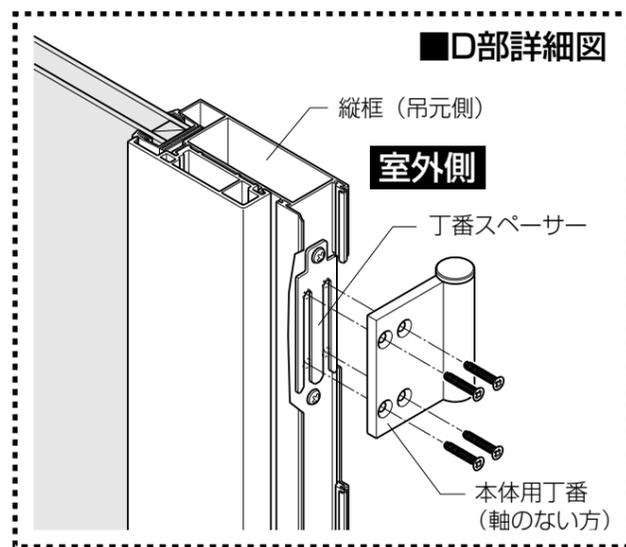
6 本体用丁番の取付け

●本体用丁番 (軸のない方) を、縦框 (吊元側) の丁番スペーサーの上にねじ止めします。

※丁番スペーサーは外さないでください。現場での建付け調整ができなくなります。

※在来工法でH20より大きい場合のみ、本体用丁番を3枚使用します。

※枠用丁番 (軸付き)・取付けねじ・ワッシャーは、枠の組立てまでなくさずに保管してください。



※本体組立て後に保管する場合は、本体フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

